



# 週報 糸魚川

2024.2.29  
第2979回例会

No.30

- ◆ 会長 樋口 浩 ◆ クラブ会報雑誌 新保照代
- ◆ 例会会場 ヒスイ王国館 糸魚川市大町1-7-11 TEL.025-553-1210
- ◆ 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- ◆ 創立 1960年9月10日 ◆ 承認 1960年10月12日
- ◆ 事務局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 TEL.025-552-1225
- ◆ 糸魚川RC HP <https://www.itoigawa-rc.jp/>
- ◆ 第2560地区HP <https://www.rid2560niigata.jp/>

## 本日のプログラム

- ・ 点 鐘
- ・ 四つのテスト
- ・ 会 歌 我等の生業
- ・ 会長挨拶
- ・ 幹事報告
- ・ 委員会報告
  - ニコニコ箱委員会
  - その他委員会
- ・ 卓話
  - 会員 大橋正秀君「私の履歴書」
- ・ 点 鐘

## 次回例会プログラム

- ◇3月7日(木) 休会日
- ◇3月14日(木) 糸魚川青年会議所  
理事長 松木美沙子様

## 出席報告

◆2月22日(木) 14名

## 先週のお客様

24-25年度ガバナー補佐  
和泉伸一郎君(新井妙高RC)

## 幹事報告

- ◇第9回定例理事会開催ご案内  
日 時 2月29日(木) 例会後  
会 場 ヒスイ王国館(姫川)

## ◇会員親睦旅行開催のご案内

日 時 3月17日(日)~18日(月)  
行 先 北陸 金沢・福井方面  
観光コース、ゴルフコース  
費 用 55,000円(内、補助あり)

## ◇南雲年度ロータリー防減災セミナー開催案内

日 時 3月23日(土) 受付13:00~  
会 場 長岡ミライエ ステップ  
出席対象者 南雲年度地域協働ネットワーク  
センター連絡員

## ◇次年度「ロータリー財団補助金事業」打ち合わせ開催のご案内(糸魚川RC、糸魚川中央RC)

日 時 3月27日(水) 13:00~  
会 場 糸魚川商工会議所 会議室  
出席者 両クラブ会長、担当委員会

## ◇第2560地区ロータリー「山の会」開催のご案内

日 時 5月24日(金)~25日(土)  
場 所 佐渡ヶ島 ドンデン山  
宿 泊 ドンデン山荘  
参加費 25,500円(保険料込み)

※「ドンデン山」…正式名はタガラ峰。900m級の3つの山を合わせた高原一帯を「ドンデン山」と呼んでいます。高山植物や山野草の宝庫。新日本百名山や花の百名山に数えられています。

## ニコニコ箱 2月22日 \*\*\*\*\*

樋口 浩君 和泉ガバナー補佐エレクト、今日はお忙しい中ありがとうございます。

歌川多喜司君 誕生日プレゼントありがとうございます。2月20日で63才になりました。本日、卓話の機会を頂戴しました。よろしくお願ひします。

松木美沙子君 お久しぶりです(笑)みなさまにお会いできてホッとしています。誕生日のお祝いもありがとうございます!!今年もよろしくお願ひいたします。次年度ガバナー補佐和泉様、本日はよろしくお願ひいたします。

\*\*\*\*\*

## 24-25年度 和泉伸一郎ガバナー補佐あいさつ

新井妙高ロータリークラブ  
有限会社和泉総合事務センター 取締役会長

先般の能登半島地震では糸魚川も被害があったとお聞きしました。お見舞い申し上げます。



新潟県、分区内では人口減少が進んでおりそのような中で経済も縮小しています。私たちがいかにロータリークラブを継続していくかということに各クラブが手を取り合って意見交換をしていかなければなりません。

今年度ガバナーは分区内の近隣地区でブロックを作り活動できないかという提案をしております。

糸魚川と糸魚川中央で一つ、高田、高田東、新井妙高で一つ、直江津と越後春日山で一つと言うようにブロックを3つ作りガバナー公式訪問を合同で行ったらどうかということです。ロータリークラブも時代と共に変革をしていかなければならないとも思います。大事な伝統は守らなければなりません。私たちの活動で簡素化できるものはしていこうと言うことを先日の会議でお話しされ、ある程度皆様よりご理解をいただいたうえで、新しい試みを実施していきたいというお考えでした。今年度の前川ガバナー補佐との引継ぎもこれからですが、早めに各クラブを回りご理解を得ていただきたいということで今回は早めに訪問しました。糸魚川RCの皆様からもぜひご理解いただき、よりロータリー活動が活発となるようご協力をお願いしたいと思います。次年度もどうぞよろしく願いいたします。

### ◆◆ 同好会情報 ◆◆

#### ◆麻雀同好会

2月26日(月) 社交室 5名出席



#### ◆中央RCコーナー

3月1日(金) 「夢作文」発表会

\*\*\*\*\*

#### ◆個人寄付 2月22日(3名8,000円)

氏名	スマイル	R財団	米山財団
樋口 浩君	1,000	1,000	1,000
歌川多喜司君	2,000		
松木美沙子君	1,000	1,000	1,000
合計	4,000	2,000	2,000

\*\*\*\*\*

## 先週の卓話 \*\*\*\*\* 「新規ホテル事業の取り組みについて」

株式会社アド・クリーク  
会員 歌川多喜司君  
開業準備室長 内田 智規様



20年ほど前になりますが息子がBMXという自転車モトクロスの競技をしており、全国大会の遠征の時は家族で好んで「旅籠屋」というロードサイドホテルに泊まっていました。アメリカではロードサイドホテルを拠点として各地へ移動するのが主流となっています。また息子は17歳からスキーのフリースタイルへ転向し札幌雪祭りの大会では三連覇するなど各大会で活躍、平昌オリンピックを目指しておりましたが残念なことにケガをしまいスキーは断念せざるを得ませんでした。新ホテル開業にはこのような経験もあり息子が構想、建設に関わっています。

さて、どのような経緯で私達がホテル事業を始めたか。2020年コロナ禍の時にある方から茶飲み話して新井のこの土地で何かやってみないかという話があり、フランチャイズの「旅籠屋」はどうかという発想から話しは進みました。調査するうち予算的にも単独でできるんじゃないかということで背中を押され、「旅籠屋」+バーベキュー、温浴施設の構想が出来上がりました。土地、インフラ整備、条件などで二転三転しましたが、運と偶然の流れに乗り、道の駅あらい東エリアにコテージタイプの「HOTEL SOBOKU」の建設が始まりました。構想3年、建築1年で息子たち若い社員の新しい発想で今年ゴールデンウィーク開業に向けて現在進んでいます。

(内田様よりホテルの概要紹介)

コロナ禍が収束しないまま当たり前の幸せがいかにかけがえのない時間だったか、素朴な幸せという想いを込めネームを「HOTEL SOBOKU」としました。立地は海にも山にも近くハブステーションとして気軽にカジュアルに利用していただきたいと思えます。アド・クリークは今年で創業43年目となる地域密着型の広告代理店です。広告業で培った観光業のネットワークを駆使して地域全体の持続的なプランニングに貢献していきたいと思えます。ホテルは独立型の9棟、1棟57㎡、9棟全て同じ間取り、サウナとバーベキュー設備を完備しており様々な客層に喜んでいただける施設となっています。お得に先行予約できる早割チケットのクラウドファンディングに挑戦しています。是非開業を楽しみにしていただきよろしく願います。